

農業情報メール配信開始！

農業支援事業のご案内や農業災害などの情報を、お持ちの携帯電話にメール配信します。農業者の方はもちろん、後継者の方などご家族の登録もできますのでぜひご利用ください。（パソコンのメールでも登録可能です）

登録は簡単です。

①お持ちの携帯電話からインターネットで下記に接続してください。

<http://www.city.daisen.akita.jp/content/m/n/>

（右のQRコードからも接続可能です）

QRコード



②接続後に地区を選択し、次にグループを選択してそのまま送信すれば登録完了です。

※登録完了メールの返信に時間がかかることがあります。（休日をはさむ場合は2～3日後になることがあります）
 ※登録および情報料は無料ですが、メール受信に通信料金（1通約0.2～1円程度）がかかります。
 ※お持ちの携帯電話のメール設定によっては、受信できない場合があります。1週間経過しても登録完了メールが届かないときは、メール設定を変更してください。

●**配信例**（選択されたグループによって、配信される内容が変わります）

水田経営所得安定対策加入の皆様へ

対策加入申請書の提出期限は〇月〇日です。期限が近づいていますので、遅れないようご注意ください。

【担い手の方へ配信】

集落営農経理講習会を開催します。

出席は農林振興課(0187-63-1111)へご連絡ください。
 日時：〇月〇日 午後3時より
 場所：市民ホール

【集落営農組織へ配信】

〇〇事業のご案内について

要望等は農林振興課(0187-63-1111)へご連絡ください。
 対象法人：新規集積1ha以上
 補助率：〇万円

【農業法人へ配信】

台風〇〇号にご注意ください。

〇日夕方から〇日の午前中にかけて、台風〇〇号が通過します。風と雨の被害にご注意ください。

【全登録者へ一斉配信】

★お問い合わせ先：大仙市農林商工部農林振興課（☎0187-63-1111 内線246）

担い手通信

第4号
平成20年
9月発行

大仙市集落営農・法人化支援センター
大仙市太田町横沢字堀ノ内46
Tel. 0187-88-1920

● 農業情報メール配信がスタートします。
 ● 集落営農組織の支援担当者が配置になりました。
 ● 集落営農組織をシリーズで随時紹介していきます。

平成十八年度から各集落で集落営農組織が設立されました。品目横断的経営安定対策の加入要件として設立した集落営農組織や、既存の大豆生産組織などが成長した発展的な組織など大仙市管内では七十一組織（平成二十年八月末現在）が活動中です。今回はその中でも、集落営農組織が多い中仙地域から『長楽寺集落営農組合』を、代表である鈴木清敏組合長より紹介をしていただきました。



長楽寺集落営農組合

代表 鈴木 清敏

当集落は、平成十年に基盤整備事業が実施され、平成十三年より転作物として大豆を取り入れ、ブロックローテーションを実施することにより、他作物より、さらに他集落に比べ高い転作奨励金を受け取ることが出来ました。

そのような中であって、品目横断的経営安定対策が出され、政策に乗って行くことすれば、これまでの大豆生産組織を基に集落営農組合を設立しなければならぬものと思ひ、集落の皆さんと話し合い、平成十八年九月に組織を設立することが出来ました。

しかし、スムーズに決まった訳ではなく、組合員の皆さんから理解していただくまで何回となく会合を開きました。

一番話題に上がったことは、経理の一元化とすること、自分の家計が他人に知られるのでは「ということ」が心配のようでした。

実際はそのようなことはありませんが、私自身も初めはそのように思っていました。平成十九年からの政策に対しては、今後個

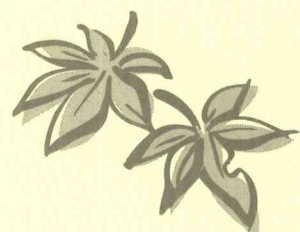
人ではどんなに頑張ったとしても農業所得の向上は見られず農業経営は難しいものと考え、これまで同様にブロックローテーションで大豆の作付けをして集落一丸となつて国策に挑戦し、より高い交付金を受けながら集落営農を営んでいくことの話し合いをしました。

その結果、現在では経理の一元化に対しても理解を頂き事務的な流れもスムーズに行っているところだ。

この後一番心配されるのが後継者の問題で、これはどこの地域でも共通の悩みだと思いますが、もし後継者が居たとしても現在の米価での農業経営状態では胸を張って経営を移譲出来ない心配があり、どうにもならない感じにいるのは私ばかりではないと思います。

国では、法人化また集落営農に対して手厚い支援を打ち出すようですが、出来る集落と出来ない集落があると思います。一様に考えても必ずしも良い訳ではないでしょうが、現在の農政は余りにも変化が激しく農家として訳の分からない状態にいるのが本音ではないでしょうか。

今後、我々農家も農業で生き残るためには農家全員が創意工夫して、少しでも農業所得を向上させるため、粘り強く、足腰の強い集落営農を実現させることに向かいたいと思つています。



集落営農組合の支援担当者は私たちです。

各集落で設立された集落営農組織を対象とした、支援班を設置いたしました。関係機関一体となって支援してまいりますので、担当までご遠慮なくご相談ください。
 なお、機関ごとの支援内容は次のとおりです。

大仙市集落営農・法人化支援センター

《支援班長》
法人化、経理指導など

大仙市役所 各農林振興課

補助金、各種補助事業、生産調整、研修会など

秋田おばこ農業協同組合各営農センター

会計処理(一元)、各種申請書など

★また、秋田県仙北地域振興局の支援窓口は、

農林部農林企画課

法人化、各種補助事業、制度資金、複合経営、経営診断など

農林部普及指導課

栽培技術指導など

支援してまいります。

大仙市 水田経営所得安定対策(品目横断的経営安定対策) 加入状況

平成20年8月

	20年				19年			
	認定農家	法人	集落営農	計	認定農家	法人	集落営農	計
加入経営体数	1,058	31	71	1,160	865	26	67	958
品目別 作付面積	米 (ha)	4,118	619	1,436	6,173	3,872	617	5,968
	麦 (ha)	101	22	6	129	111	9	121
	大豆 (ha)	554	305	357	1,216	356	170	744
	計 (ha)	4,773	946	1,799	7,518	4,339	796	6,833

秋田県における大仙市の加入割合

	経営体総数	認定農家	法人	集落営農
秋田県	7,051	6,414	131	506
大仙市	1,160	1,058	31	71
大仙市が占める割合(%)	16.5	16.5	23.7	14.1

20年度の特徴・・・今年度新設された「市町村特認」により、認定農家で177経営体、集落営農で4経営体(生産調整特例からの切り替え含む)の加入がありました。

シリーズ(Ⅱ) = 法人化に向けて = “メリット・デメリット”

にデメリットも併せもっています。例えば、社会保険料などは、加入者と事業主(法人)が折半することになるほか、労災保険料は全額、事業主の負担となります。集落営農では掛からない法人税などは、均等割は赤字でも納入しなければなりません。(均等割は県民税二万円余、市民税は六万円)

また、複式簿記などの会計処理や法人税の書類作成などの事務処理に労力と費用を要することになり、税理士に依頼した場合は更に負担となります。

水田経営所得安定対策の加入資格は集落営農では二ヘクタール以上ですが、法人の場合は四ヘクタール以上の認定農業者であれば加入は可能となります。

今回は、法人の「組合員・構成員関係について」です。

① 経営管理は複式簿記を導入していることで数字的に経営内容を明確に把握することが可能です。

② 対外的・社会的に信用力が付きます。金融機関や取引先のほかに、地域内からも大きな信用力を得ることが出来ます。

③ 人材を確保していくことで、新規就農者の雇用の場を拓けることも可能となり、幅広く人材を確保することで、新規事業にも着手することが可能となれば組織の継続性も高まります。

④ 経営戦略として何よりも、生産コストの低減ができ、効率的な土地利用や経営の多角化が図りやすくなります。

以上がメリットとして挙げられますが、逆にデメリットも併せもっています。例えば、社会保険料などは、加入者と事業主(法人)が折半することになるほか、労災保険料は全額、事業主の負担となります。集落営農では掛からない法人税などは、均等割は赤字でも納入しなければなりません。(均等割は県民税二万円余、市民税は六万円)

農業法人のメリットに挙げられるのは、制度上のメリットと経営・運営上メリットがあります。

まず、**制度上のメリット**では、社会保障、税制、制度資金、農地の取得等があり、

① 社会保障では社会保険(医療・年金保険)、労働保険(労災、雇用保険)の適用を受けることができます。

② 税制上では法人税の適用(定率課税)赤字決算の繰越控除が七年間可能となるほか、法人税は経費を差引くことが可能(役員報酬、交際費など)になります。

③ 制度資金では貸付枠の拡大が可能です。

(農林漁業金融公庫資金、農業近代化資金、農業改良資金、スーパール資金の無担保、無保証貸付など)

④ 農地の権利取得や、取得の支援、経営移譲の受け皿になることも可能です。

次に、**経営・運営上のメリット**では、農業法人になることで、

自分の性格に合わないと思っっている人は個人競技を選択し、少しの力でもみんなまで目標に向かおうとする気持ちがあれば、団体競技を選択する。なんとなく、認定農業者と集落営農組織・法人組織と似ているような気がしてきた。どちらが良くてどちらが悪いというのではなくて、スポーツで記録を伸ばそうとするものと、農業で多くの収益を上げようとするものと似ていると言っ

てしまえばお叱りを受けるだろうか？

夏の暑さも少し落ち着き、収穫が目

の前だが、日本酒をチビリとやりながら考えてみるのも良いのでは…。(貝)

個人競技から団体競技まで様々あるが、テレビ放送の解説者の一言の中で、「個人競技の失敗は自分の努力不足だと諦めがつくが、団体競技になれば、自分が足を引っ張ったといわれたいためにも、予想以上の力を出す場合がある」と解説していた。正に、金メダルを獲得したソフトボールの投手は、二試合延長戦を投げ通した後に、更には決勝試合への登板をさせた監督の采配は、「チーム全員の心がひとつになる」と読んだものだろう。団体(組織)の力はまとまれば、個人個人の持つ持っている力を、より大きく発揮できるものと思われたい。

団体の中では、自分を発揮できない、自分の性格に合わないと思っっている人は個人競技を選択し、少しの力でもみんなまで目標に向かおうとする気持ちがあれば、団体競技を選択する。なんとなく、認定農業者と集落営農組織・法人組織と似ているような気がしてきた。どちらが良くてどちらが悪いというのではなくて、スポーツで記録を伸ばそうとするものと、農業で多くの収益を上げようとするものと似ていると言っ

北京オリンピックが「大曲の花火」も凌ぐほどの豪華な花火の打ち上げで始まった開会式に次いで、各競技ですばらしい記録が続々飛び出した。

日本チームも、競技前から大きな期待を寄せられていたにもかかわらず、残念な結果に終わってしまった選手もいれば、期待通りにメダル獲得した選手もいた。「オリンピックは参加することに意義がある」という時代から、「メダルを取ってナンボ」の風潮に変わってきた気がするのは私だけだろうか。

個人競技から団体競技まで様々あるが、テレビ放送の解説者の一言の中で、「個人競技の失敗は自分の努力不足だと諦めがつくが、団体競技になれば、自分が足を引っ張ったといわれたいためにも、予想以上の力を出す場合がある」と解説していた。正に、金メダルを獲得したソフトボールの投手は、二試合延長戦を投げ通した後に、更には決勝試合への登板をさせた監督の采配は、「チーム全員の心がひとつになる」と読んだものだろう。団体(組織)の力はまとまれば、個人個人の持つ持っている力を、より大きく発揮できるものと思われたい。

編集委員の
つづき